大町病院サポーターの会会報

Ｎｏ72
2019 年 8 月発行
大町病院サポーターの会
発行責任者降籏剛

大町氷河をみる登山は雨のため断念・・

高山植物園で青いケシ、クロユリ、コマクサ等を楽しむ

７月７日、会初めての催しである素晴らしき大町を見る第一弾として大町氷河（カクネ里氷河）をみるための山岳登山を行いました。当日は曇りのち晴れの予想のもと相沢文人団長（会次長）他 13 人で出発しました。コースは五竜遠見ゴンドラとおみ駅からアルプス平駅までゴンドラで一気に登りました。そこはカッパが必要な雨降りでしたがリフトに乗り終点へ。途中高山植物や野草を見ながら終点へ。おりてからこどもも元気に地蔵の頭まで登りました。晴れる様子がないため、氷河は見られないと判断しそこから引き返しました。地蔵の頭ではガイドとして随行いただいた大町山岳博物館館長の鈴木啓助先生から氷河についてレクチャーを受けました。そこからお花畑の中を見ながらゴンドラアルプス駅まで写真を撮影しながらゆっくりと下山しました。

途中、コマクサが広範囲に咲き乱れ黒ユリの花が最盛期を迎えていました。ヒマラヤの青いケシは満開で、記念写真を取り合っていました。駅に着くとお昼には少し早かったのですが、コーヒーやお茶を飲みながら早昼を取り麓まで戻りました。下界は晴れていました。全員無事帰還しました。

鈴木啓助先生（大町山岳博物館館長）の話

日本は海に囲まれ、日本海は水温が高く蒸発した水蒸気が北西から吹いている寒気により冷やされ降雪が多い。降雪量が消雪量より多いと雪が残り、それが溶け、凍結し氷となる。消雪の最大要因は日射である。カクネ里の地形は谷が北向きになっており、昼過ぎには鹿島槍ヶ岳北峰の陰になり日射が少ない。そのため中緯度、かつ標高 1700m という低い地点にカクネ里氷河が存在する。氷河は氷体が動いていることが条件で調査に困難を極めた。GPS 等の近代装備で動いていることが確認された。【参加者は鈴木啓助、金子一明ファミリー、鳥居旬ファミリ-、脇田ゆう・佐助、相沢文人、内山博、若林茂男、高橋博久の 14 人（順不同、敬称略）】

バーベキューで交流、楽しいひとときを過ごす

7 月 21 日、大町運動公園こども広場でバーベキュー交流会が開催されました。参加者は井上善博院長、青木俊樹副院長、西澤千文看護部長、川上晴夫事務長はじめ病院職員とサポーターの会会員・役員総勢 21 人でした。相沢文人事務局次長の司会、塩原義夫事務局次長の開会挨拶、井上院長の挨拶、青木副院長の乾杯で始まりました。所用で少し遅れた降籏剛会長の挨拶で会は盛り上がりました。炭火で焼き上がる肉の匂いと煙は食欲をそそります。やや落ち着いた頃をみはからい全員で自己紹介をしました。この日、新規会員となったＩターン 23 年目を迎える福田實さん（大手建設会社勤務：黒四ダム工事本体作業に従事）は退職とともに想い出深い大町へ移住して自然の良さを満喫。大町病院に大変世話になったことから、サポーターの会への加入を決断。偶然塩原さんの紹介で出席し、感激の挨拶をされました。牧瀬さんは孫等 4 人で参加、奥原喜義さんも親子で参加していただき、総務課の事務部門の皆さんも大勢参加され楽しいひと時を過ごしました。
会場も屋根がついているため安心して楽しむことができました。来年はもっと交流を深めるために大勢の参加ができるよう検討します。

ヤマユリ、タチアオイの花見頃、咲きそろう病院の庭さき

昨年 11 月 18 日、信州花フェスタ・タイアップ花壇を桜の木の石垣下に作りました。オキナソウ、チューリップ、エビネ、シラネアオイがすでに咲き終わりました。現在ヤマユリ 15 本が大きな花を咲かせています。その後ろにはアジサイが新種の花を咲かせています。駐車場のもみの木の北側には洋種のタチアオイの花が 4 本咲いています。いよいよ病院の花壇も盛夏を迎え楽しみです。

南棟さくら入り口にミニ農園、入院患者に好評

5 月 18 日、大町病院にミニ農園が誕生しました。場所は南棟さくら入り口の北側で、猫の額ばかりのミニ菜園です。植えられているのはミニトマト、中玉トマト、大玉トマト、キウリです。「日毎に大きく成長する野菜が楽しみだ。」と入院患者に人気があり、多くの皆さんの癒やしの場となっています。すでにわき芽欠きなどを入院患者のみなさんが指導してくれています。

水くれは大変ですが実が成り出すと疲れも飛んでしまいます。既にキウリ 4 本、ミニトマト 5 個収穫しました。（7/25 現在）

寄贈絵画作品に題名と寄贈者の名前が入りました

芸術とはきれいな写真のような絵画を描くことではなく見たり想像したり抽象したりしてものを考え作品を創作し、生み出す行為です。構想をどのように表現するか。それが作品を作ることになります。単に描くのではなく精神的営為で創造するのです。大町美術倶楽部の皆さんの素晴らしい作品が院内にずらりと並びました。味わってください。芸術とは奥が深く作家がどのような意図で描いているのか。考えながら見てください。このほど作品名と作家名を表示しました。作品の寄贈はまだ続きそうです。

病院祭特別講演『誰にでもできる随所の生涯学習で健康長寿を』(要旨)

長野県生涯学習インストラクターの会　会長　牛越　充先生

　ボケを深く実感するこの頃は、畑に降りて、作物を荒らすカラスを追い払うと、近くの電柱に止まって鳴く声も、私に向かって「アホアホ」と聞こえる。「幸せはまだかまだかと思っているうちはまだで、気づいてみれば今がそう」とは、心の持ちよう。

歳を重ねてボケるのは当然。幸せのボケ方、迷惑をかけないボケ方、そんな心がけを持ち続けることも随所の生涯学習。生涯現役・人生二毛作、挑戦への一歩を等々。大事なことではあるが、超後期高齢者になってくると、ボケや認知症、介護等々の「受容への挑戦」も大事である。それも随所の生涯学習の課題である。

一　誰でも関係しており、期待されてきて生涯学習

　生きている限りは脳は働いている。それは生まれたときから「脳は瞬時も置かずに学習を続けており、全自動生涯学習マシン」だということである。死を直前にしてのベッドに付しても、老人施設等でも、意図的な方法によっては豊かな学びがある。学習が好きか嫌いかではなく、意識変革して随所で心がけて、より良く生きる生涯学習を構築したい。イノベーションによるスマホ等、思考も感情もなく、完成なき人間喪失時代を迎えている時、喫緊の課題ではないか。「21 世紀の扉を開く鍵、それは生涯学習だ」と提唱したのは国連のユネスコである。

二　意識改革で随所の生涯学習へ・・・その心がけが人をつくる

　公民館やシニア大学、スポーツ等々の学びの集まりで、地縁、血縁が希薄になってきている時、新たな学習縁ができる。しかし、それができなくても、日常生活の中で意識を変えての心がけ次第で立派な生涯学習ができる。食事を作る、掃除洗濯をする等々も脳トレ・筋トレ・介護不要・独居への自立等々、自分のため世のための学びがある。

家庭の生涯学習という認識も深めたい。息子の教科書を読むというタクシーの運転手さん、親子で校歌を口ずさむ、外での生涯学習を家族で語る等々の事例から、家庭教育という発想よりも、家庭文化〈生涯学習〉を豊かにしたいという願いが教育そのもの。

結びに

改革はお互いに痛い血を流さずには果たされない体験をしてきた。外野からチェックしているだけでは果たされない。自分の生涯学習プランに地元病院を位置づけたい。青木俊樹先生の講演資料に「人生はグライダー、重荷を減らして長く飛ぶ」とたとえ、健康診断で自分を知ること、危険因は自分で気づかない事が多い。それを知って対応することが健康長寿」とある。位置づけは、病院の健全運営、介護等福祉の税金減らし。まさに自分のため世のためにも。

会員の皆さんへ

サポーターの会会員募集推進のお願い

市立大町総合病院は町立病院として昭和2年に創立され、本年92年を迎えました。爾来、大北地域の医療の拠点病院として地域住民の生命と健康を守り続けてきました。

少子高齢社会を迎えた今日、国の医療制度も大きく変わり地域医療を守る中小の自治体病院は存続の危機に直面しています。

市立大町総合病院も例外ではなく、平成21年に内科医師が3人となり診療制限をしなくてはならない事態が起きました。

こうした危機を伝える医師の訴えに呼応し設立されたのが「大町病院を守る会」でした。

「大町病院を守る会」結成10周年に当たり本年5月、これまでの名称を「大町病院サポーターの会」に変更し決意を新たにスタートしました。

現在、当会は個人会員300人と団体会員30団体で構成し、大町市からの負担金と会費を財源に、地域住民の切実な願いである病院の存続をめざし医師はじめ医療関係者の確保と環境整備、広報活動と市民意識啓発のための公開講演会、地域懇談会等に取り組んでまいりました。

また、平成27年、産婦人科での分娩中止の折は大北全域に署名活動をお願いし、4万8,900人の署名を集約し県知事と信州大学病院長に提出、昨年の経営危機に際しても病院職員を叱咤激励し再建計画の策定とその実施などを支援し、その活動内容は年間7～8回の会報発行により会員の皆様に詳しくお伝えしてまいりました。

今後さらに大きく支援の輪を広げることによりサポート体制を整え、住民の健康と生命を守る大町病院存続のための応援を強化したいと考えております。

つきましてはこれら状況をご賢察のうえ当会に加入し、大町病院をサポートしていただく会員の拡大を進めたいと思います。友人知人の皆さんにおすすめいただきますようお願いします。

なお年会費は個人会員1口1000円、団体会員1口2000円です。何口でも加入することができます。

加入申込書などはお近くの役員、または事務局次長高橋博久携帯090-4054-2747までお申し付けください。

また病院においでの際、医事課または総務課に申し込み用紙を預けてあります。
年間とおして受け付けております。

８月１１日 午前６時から、病院花壇の草取りです。そろってご参加ください！

お盆前の１１日、早朝６時から７時までの１時間、病院花壇の草取り作業をします。市民と職員が力を合わせて協働作業をします。最近は職員の皆さんが大勢参加され、会員の参加が少なく感じます。

会員の皆さん一汗かいてみませんか。作業終了後は若い皆さんとお茶のひとときです。若さとパワーを貰ってください。そして草取りの知恵を伝えてください！？

会費・寄付納入ありがとうございました。（順不同・敬称略）

個人会員納入者

平林千恵　西沢富江　太田正治　宮原洋　宮原幸子　伊藤正子　松澤絹枝　倉科健夫　松坂則子
中村洋子　丸山初枝　曽根原叶　子山崎智子　渋田見博　渋田見洋子　渋田見尚美　諏訪光昭　内山博
島田元実　山下好隆　島田剛志　田中栄一　降籏　剛　種山博茂　海川明文　松下直生　清水あさひ
黒岩良介　大日方三郎　大日向明　西沢和穂　塩原義夫　中島節子　小日向修　栗林節子　鈴木友子
小林奈美　栗原洋子　縣　信　丸山利子　清水香代子　清水真弥　松井和子　丸山一由　棚山喜和夫
志賀一夫　西沢千文　丸山良子　田中美智子　神社正幸　相澤文人　松澤重夫　太田節子　高橋良夫
高橋美夕紀　赤羽健次　原恵　倉科里香　小林千恵子　平林信子　手塚和子　坂井将夫　坂井文枝
北原靖朗　塩入博仁　松澤郁子　高橋袈裟登　丸山令江子　宮下敬一　吉澤伸　栗林里子　新津義文
上原信義　南部道雄　井上善博　吉澤義雄　牛越徹　石川智朗　牧義雄　大日向伸一　林春美　矢口恵子
矢口幸夫　矢口房子　矢口静人　宮坂陽一　江津敏雄　西澤礼子　矢口定男　柏原一正　大日方宗仁
小日向美春　降旗菜穂子　小日向敦子　白澤千代子　鈴木幸子　相模一男　松尾忠久　松山玉江
沢渡勇治　前田敏博　松下はつみ　坂井孝芳　一志寿栄　中村康貴　関口健二　鎌倉一幸　松島吉子
内川賀介　小林弥生　八角宣一八　角祥子　若林茂男　太田久彦　内川孝　内川よし子　吉田弘巳　平林
千里　横田孝穂　伊藤芳行　若松正枝　浅見昌敏　中島一郎　田中静子　黒岩礼子　丸山優一　西山孝
高橋政之　北澤一人

団体会員納入者

信濃大町の漬物や　市女団連　給食当番　共同作業所がんばりやさん　市職労　地場の郷　病院労組
れんげ福祉会　木崎湖温泉開発　大北医師会　奥村印刷所　大北保険薬局事業協同組合　大北農業協同組合

寄付いただきました

栗原洋子　松澤絹枝　降旗剛　倉科健夫　西沢千文　西沢富江　宮下敬一　林秀美　柏原一正
小日向美春　黒部観光ホテル　関口健二　山下好隆　太田久彦　磯野恵子　横田孝穂　井上善博

新規介入者紹介

丸山好昭　丸山英子　鷲澤徳司　安達貞司　傳刀健　中村薫　山本みゆき　大竹真千子　中村直人
山崎智子　脇田隆寛　脇田ゆう　竹村清　竹村いし子　内川篤　黒岩正彦　平出誠二　宮澤宏明
(株)相模組　福田　實　坂井将夫　坂井文枝

※会費の未納の皆さん至急納入してください。先に送られた郵便振替書または病院窓口で封筒に住所・氏名・電話番号を記し、現金を入れ、お渡しください。サポーターの会へ届くようにお願いしてあります。